



# 町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

昨年12月から1月にかけて、町民の皆さんから様々な先行きを心配する声がありました。そのうち、皆さんにも関係するのではと思うことを紹介します。

1点目は、少雪の影響についてです。身の回りの除雪などの負担は少ないですが、特にスキー場の関係者の皆さんは大変困っていました。

ちなみに、新得山スキー場がこれまで最も遅くオープンした年は平成26年1月29日です。北海道電力の方からは発電所の上流部の山にはたくさん降ってほしいとお話もあります。自然が相手である以上難しい問題と感じています。

2点目は、人口についてです。平成30年12月末の人口は対前

年比75人減の6216人です。1月から12月までの1年間に亡くなった方は10人、出生32人で差し引き68人の自然減で、2年続けての社会増は7人の社会減となりました。また、外国人の方が16人居住されており前年より16人増えています。人材不足の問題は新得に限らず日本全国各地で起きています。何か良い手が考えられないのかと悩んでいるところではあります。3点目は、役場庁舎の建て替えについてです。現在の庁舎は昭和44年(1969年)に建てられ、以来50年が経過しようとしています。耐震問題、設備の老朽化、災害対策などこのままにはしておけない状況になってきました。建築にかかる費用が多額(概ね25億円)になることから、町民の皆さんの負担が少しでも軽減できる財源対策の制度(国から工事費用のうち20%程度の支援)を考慮すると、遅くとも2022年には着工しなければなりません。現在、内部での打ち合わせを進めています。なるべく早く皆さんに素案を公表して意見をいただきたいと思っています。なお、場所は現在地でと考えています。

## No.17 知る知る 深める 新得町

町総合体育館  
(サホロアリーナ)

(字新内西6線145番地 狩勝高原)

### 【どんな設備があるの?】

アリーナの面積は2000㎡と道内有数の広さを誇り、様々な屋内競技に対応しています。

- ・アリーナ(テニスコート3面、バスケットボール2面)
- ・サーキットトレニングルーム
- ・ランニングルーム
- ・収納式観覧席304席

### 【どんな風にご利用されているの?】

個人や団体のトレーニングにはもちろん、スポーツ合宿や全道規模のスポーツ大会など、町内外の方に幅広く利用されています。

### 【開館時間】

平日 午前9時～午後9時

### 【使用料】

◆個人使用の場合(2時間分の料金1時間延長ごとに記載額の半額を加算) 短大生、大学生及び一般500円

高校生300円、小中学生100円、幼児無料。団体使用の場合 町ホームページでご確認いただくか、電話等でお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ  
総合体育館(電話64-63-18)



▼アリーナの照明設備を更新してLED化しました。利用者からは「ボールが見やすい」と好評です。



## 郷土の歴史を 新得町郷土研究会が ご紹介いたします 一緒に 歴史の散歩に 出掛けましょう

No.41

上川灌漑溝水門遺構

郷土地区の稲作は、明治45(1912)年に森口忍により試作が始まり、大正4(1915)年に屈足土功組合、同6年には上川土功組合が設立され、稲作は徐々に地区全体へと広がっていききました。

稲作にとって水の確保は命といえるもので、屈足と人舞(清水町)両地区の水田2000町歩(約1983ha)に水を引いて土地を潤すため、上川土功組合は大正10(1921)年までに、約78万円をかけて上川灌漑溝を完成させました。

パンケニコロベツ川の水を利用するため、水門は同川が十勝川に合流する付近の屈足38号地先に造られました。水門から上川灌漑溝大幹線や支線に水が導入され、屈足や人舞の各農家の水田に引かれました。



上川灌漑溝水門遺構史跡銘板



上川灌漑溝水門遺構

このとき造られた大きな水門は、今もその姿をとどめています。この工事には、タコと呼ばれた多数の土工労働者が働いていたことが、地域に伝えられています。水門は昭和34(1959)年8月の集中豪雨で修復不可能な被害を受け、その使命を閉じました。大正10(1921)年から約40年にわたって稲作を支えた水門遺構を後世に伝えるため、平成8(1996)年3月、新得町教育委員会と新得町郷土研究会により史跡由来板が立てられました。

## 短歌

### 新得短歌会

- 再びの縁願ひて夢となす  
幸多かりきいと世に感謝  
(故)小野 洋子
- 不詳読む師走の朝の地吹雪の  
戻らぬ時ぞされど送りし  
斎藤美代子
- 先輩の眠る姿に涙して  
すべて整え遺稿をのこし  
小野 恭子
- 広き根に花とぶ想い娘らふたり  
七母しのびつも父の愛知る  
中井由利子
- 花愛し心優しき歌友逝きぬ  
涙でありがとうふたりの絆  
高橋 幸子
- 涙雪フロントガラスに張りついて  
こぶしをつくり踏切渡る  
岡田御狸裸
- 友よ今一度きりの人生だ  
やすやす手放すなかれと叫ぶ  
小関 白潮
- 爽やかな旭日染めたる雪山の  
心新たに今日を生きぬく  
池田 一步
- 残照に浮かぶ一輪落ちてなほ  
我らが行く手を照らしくるるか  
菊池 水月
- さんざめくあしたをえらび君は逝く  
歌道ひとすじひと世を生きる  
石本 洋

## 俳句

### 新得俳句同好会

- 波月ゆく芯とぶごとく雪舞えり  
袴田ゆき男
- 北に棲み未だ雪なしと初日記  
月井 悠峰
- 未し方の師の影惚ふ初句会  
八木 育子
- 借老の笑顔を交わし屠蘇祝う  
渡辺アヤ子
- 誰となく待てる一日や牡丹雪  
高橋 民女
- 利目のホワイトアウト立ちかえる  
大崎かずお
- 去年今年老化の進む脳細胞  
中島 土方